

このセミナーで講師・茂木は一人の患者役を良くしたり、悪くしたり一瞬のうちに再現します！ 治すだけでは、正しい治療ではありません。生体現象としての症状を知るのなら、治すことの正反対にも操作できなくてはなりません。

なぜ、透視診断治療か？ 西洋医学には不完全なりの画像診断がある。カイロプラクテックにも X 線診断がある。鍼灸には人体内診断法がない。『史記』扁鵲倉公列伝には「今に至るまで脈を言う者は扁鵲より由るなり」とあり、同時に堀の外から病者の体を透視した。脈診は「葦の髄より天井を覗く」と古医書にもある。扁鵲には脈診は不用であった。

古代中国の神医、扁鵲・華佗の透視治療の再現！

透視診断の実際は臨床見学で、常時公開、または H P 動画で！

古典鍼灸理論成立以前の扁鵲による透視治療を再現する 2 大治療法

律動法と新鍼灸法は、なぜ人体全疾患を改善することが可能か！それは人体全体、体内まで診断するからです。

律動法・新鍼灸法（半身症候鍼灸） → 律動法・新鍼灸法の基礎は高度治療に必要な心身の感性を向上させる指導を重視します。素問・靈枢、難経、傷寒論には理論の解説のみで、臨床の基本中の基本、人体を感じ取る能力、治療家の感性の修練法がない。理論があって実践法がない。これは空論です。中医学、あるいは伝統鍼灸がその理論に相反する他の治療法を駆逐する実力もない。新鍼灸法では陰陽虚実に人体を分類するから治らないと決めつけます。カイロプラクティック、頭蓋オステオパシーには古典理論がないからこそ、人体を直視した理論を導き出しました。特有の X 線診断を基礎とし手指感覚を向上させ、全身骨格系を診断する、触診法、モーション・パルペーション、及び高度な医学的理論がある。しかし一部高度なテクニック理論を臨床に活用するには、更に高度の触診、望診、透視能力が不可欠です。律動法はカイロプラクティックの SOT、頭蓋オステオパシー理論まで網羅した理論、頭蓋骨、仙骨、脳と大脳基底部、辺縁系、小脳テント、頭蓋硬膜のすべてを診断。障害原因を、各感染症、全身の骨格系の微細骨折、圧迫骨折を重視した治療をする。

新鍼灸法（半身症候鍼灸法）

国民の期待する西洋医学を超える鍼灸のために

1. 確実な正常・異常の判定法を知る。既存のすべての鍼灸には身体組織の異常・正常の正確な診断法不在。そしてその判定法により身体、あるいは精神面まで正常・異常を知らなくてはならない。虚実の抽象診断で結果が出るだろうか？
2. 治す鍼灸をする：脊椎、頭蓋骨、内臓、脳を確実に知る診断法を所有する。古典では奇恒の腑として、隠ぺいされた。
3. 治らない理論、矛盾する理論体系を排す！陰陽五行説、経絡説が生体観察を不能にした。
4. 生体機能を鈍麻する治療を止める。鍼灸の唯一の特徴であるが、この疼痛緩和治療は生体治癒力を低下させ、治癒を遅延させる。30 秒以上の置鍼を止める。刺鍼後 30 秒経って効果が見られないときは誤治である。対症治療による、鎮痛は生体の悪化で治療ではない。西洋医学の神経ブロックに回せばよい。置鍼、散鍼は知覚鈍麻作用である。鍼が直ぐ戻ることの理由である。
新しい気の診断による 1 ～ 2 ヶ所の細鍼・皮膚鍼は、脳脊髄のすべて、内臓系、筋肉系、骨格系のすべてを回復させる反応点の確認後刺鍼しますから、効果のない結果は皆無です。頭痛が即解消し、全内臓が変化します。子宮内膜炎が一瞬に軟化、縮小します。1 ～ 2 穴の刺鍼後 30 秒でアトピーの顔面が見ている前で変化し、腰痛から、内臓、視覚、聴覚まで全身の疾患が同時に改善します。感染症、日常起きる弱毒性の食中毒の診断は、多疾患が容易に治す。刺鍼後 5 秒で気の流れ正常化して全身組織が活性化します。

律動法

カイロプラクティック、オステオパシー、頭蓋仙骨治療とアメリカで発展した脊椎調整系の優れた手技治療も、近年、名だたるカリスマ的指導者、名人臨床家が影をひそめました。これらの非常に高度な生体理論の存在も、ある種、あまりに高度過ぎ、継承者の技量が追いついていけなくなっています。S O T（仙骨・後頭骨テクニック）はじめ偉大なテクニック理論を観念的にしか理解できなくなっています。マッケンジーテクニックなど理学療法化の傾向も見られます。

昭和 60 年に創案したこの律動法は、カイロプラクティック、オステオパシー、頭蓋仙骨テクニックの高度の理論を、実技により検証することができます。これ等の各理論を極めた手技治療臨床家にとって一気に道が拓けてくるでしょう。例えば、最も重要でいて、その触診が難解な D r . サザーランドが発見したクラニアリズムインパルス（C S I・脳液髄液循環）などの理論を著名な米国人ドクターさえ実技で教示することが困難でしたが、律動法セミナーでは公開しています。律動法は生体現象をまさしく息づいている状態から説明します。人体は肺呼吸と共に脳の呼吸運動、腎臓の内旋、外旋そして頭蓋骨、脊椎、骨盤、頭蓋硬膜、そして脊椎全体の呼吸運動に伴う律動現象と、すべての障害の本である律動現象の障害を L 5 の律動変位をメジャーとして調整します。調整時間は 5 秒です。従って全脊椎、骨盤、頭蓋骨、脳、内臓が穏やかに連動された動きの変化を知ることができます。

□医師の方（特に整形外科医）に朗報！ 従来の診断学では読影不可能だった X 線画像からの微細骨折の診断法を指導します。ご参加は新鍼灸法が適しています。西洋医学が限界な多疾患に著効をあげられます。皆さん好成績を上げています。

基礎シリーズ（全 3 回コース）

律動法基礎シリーズ

第 23 期 1 回 10 月 8 日 2 回 11 月 12 日 3 回 12 月 10 日 12:00 ～ 15:00 (16:00)
第 24 期 1 回 1 月 14 日 2 回 2 月 11 日 3 回 3 月 11 日

- 受講料：45,000 円 ●柔整師、指圧師、鍼灸師、医師、カイロプラクター対象
- 会場：横浜・周気堂治療室（東横線綱島駅下車）白衣持参（上着のみで可）

半身症候鍼灸基礎シリーズ

第 18 期 1 回 10 月 15 日 2 回 11 月 19 日 3 回 12 月 17 日 12:00 ～ 15:00 (16:00)
第 19 期 1 回 1 月 21 日 2 回 2 月 18 日 3 回 3 月 18 日

- 受講料：45,000 円 ●鍼灸師 鍼灸学生 医師対象
- 会場：新横浜はりセンター（J R 新横浜駅北口徒歩 6 分）白衣持参（上着のみ可）
小冊子、律動法ガイド、新鍼灸法ガイドがあります。無料で送付、ご請求ください！

名人治療家への道

□人体は一定水準に達しないと見えてこない。まず自由診療患者を一日 20 人見ると少し見えてきます。30 人で治療に自信がついてくる。50 人を超すと楽しいくらい見えてくる。それからが本格的学習です。創始者茂木 昭は一日の最高患者数は 110 人でした。これは半身症候鍼灸による臨床です。

□平成の世の扁鵲を育成！ 扁鵲的名人 50 人輩出が目標です。

律動法月例セミナー・毎月第2日曜日開催

休講月は事前に H P で通知。電話でもお問合せ下さい

会場：律動法協会（周気堂治療室） 横浜市・東急東横線綱島駅北口下車③番または④番バスで 5 つ目
本科 12:00 ～ 16:00 受講料：20,000 円 高田住宅前下車 5 分 TEL：045(531)2716

基礎シリーズ参加経験者限定。以前参加経験ある方はお問合せを！基礎シリーズ受講後飛躍的治療技術向上を目指します。受け身の受講では技術は身につきません。筋肉反射テスト、T R テスト、律動診断。全疾患の完璧な診断法、治療法を指導。全身のあらゆる疾患を改善するためには脊椎、頭蓋骨、脳の診断から腰椎 5 番の律動変位の調整は、人体全組織を正常にします。通常手技治療が不得手な内臓疾患の治療、子宮内膜炎、卵巣膿腫等婦人科疾患に著効が得られます。骨折線の見えない X 線の骨折診断も指導します。

半身症候鍼灸月例セミナー・毎月第3日曜日開催

休講月は事前に H P で通知。電話でもお問合せ下さい

会場：新横浜はりセンター J R 新横浜駅北口徒歩 6 分、スケートセンター隣接
本科 12・00 ～ 16：00 受講料 20,000 円 TEL：045(595)9994

基礎シリーズ参加経験者限定。以前参加経験ある方はお問合せを！新鍼灸法では、鍼灸師全体が忌避する傾向から、セミナー内容から外していた脳、頭蓋骨診断を今年の基礎シリーズより積極的にカリキュラムに入れダイナミックな治療を指導しています。入門者から一気に熟達者レベルまで引き上げる内容です。臨床研修の場で実際の高度鍼灸を見聞しながら、各自の目標を立て、より早く半身症候鍼灸の臨床をマスターできるように、精細な実技指導をしています。難治性の腰痛、椎間板ヘルニア。脊柱管狭窄症、過敏性腸症候群、網膜変性症、難聴、うつ病等に至るまで参加者の挙げる、あらゆる難病の臨床を指導します。

□2 種の治療法の創始者・茂木 昭は、膨大な未知の人体理論、治療理論を知っています。それを少しでも早く治療家皆さんに、指導したい。多くの病苦に苦しむ人々を救えるのです。そのためには皆さんが順次実力を付けていかないと、指導は不可能です。早く指導できるように熱情ある治療家として邁進してください。

□治療家各位へ！ 皆さんは自身の身体をどのくらい知悉していますか？ 従来の治療家先達が自己の身体をどれだけ知って、世を去ったのでしょうか！みな生涯をかけて臨床に打ち込んでも、自身の身体を知り尽くした治療家は皆無であったはず。自己の身体を知らずに、他人の生命を知ることではできません。

基礎シリーズ 月例セミナー 参加者へ

1. 基礎シリーズ参加者は事前に律動法・半身症候鍼灸のテキスト「奇跡の新鍼灸法と律動法」を熟読しておくこと。前書名は「生命のささやき」です。
2. 白衣持参 受講料は当日で結構ですが、参加申込は事前にご連絡を、H P でも出来ます。